



西東京の教育



2024.3.15 / No.104 Webで公開中 ▶ <https://www.city.nishitokyo.lg.jp/>



開校150周年記念行事の様子 田無小学校

学校に笑顔の花が咲く



-ポストコロナ期の教育活動-

新型コロナウイルス感染症の位置付けが令和5年5月8日から5類感染症になったことにより、学校において制限されていた教育活動やさまざまな行事が多くできるようになりました。また、これまでどおりの教育活動や学校行事を行うのではなく、より発展したGIGAスクール構想による授業や、新しい学校行事の実施方法等を各学校で工夫することで、子どもたちが主体的に学べるようポストコロナ期の教育活動等を進めています。



柳沢中学校

歌声響く
合唱コンクール

GIGAで進化した学び



子どもたちが学習目的に応じてタブレットを活用する機会が増えました。自分の考えをタブレット上でも伝え合い、共有したり、個別最適な学びに向けた活用を図ったりするなど学習内容の理解を深めています。

運動会も
歓声がいっぱい！



田無小学校



谷戸第三小学校

持久走月間を
実施しました

◆教育指導課 042-420-2827

令和6年 西東京市 二十歳のつどい を開催しました



式典会場の様子



実行委員会主催イベントの様子

1月8日(祝)西東京市スポーツセンターで、西東京市二十歳のつどいを開催し、1,198人が参加しました。

式典前に、中学校時代の恩師からのメッセージビデオの上映を行った際には、久しぶりの恩師の姿を懐かしみ、嬉しそうな様子が見られました。代表者の挨拶では、ご家族や地域の方など、これまで支えてくれた方々への感謝の気持ちや、これからの夢や目標が述べられました。

式典終了後には、参加者の皆さまが各中学校に集まり、実行委員会が企画・主催する楽しく語る場で、久しぶりに会った友人らと楽しい時を過ごしました。

改めまして、二十歳を迎えられた皆さまへお祝い申し上げますとともに、皆さまのこれからの活躍を心よりお祈りいたします。式典の様子は市ホームページでも公開しています。



◆社会教育課 042-420-2831

周年記念式典を開催しました



田無小学校 校長 前田 元

令和5年11月2日に、市長、教育長、市議会議員及び市議会議員の皆さまを始めとして、多くのご来賓の方々、地域の皆さまをお迎えして開校150周年記念式典を行うことができました。これまでご支援いただいた西東京市、市議会、教育委員会、歴代の校長先生方及び教職員の方々、地域の皆さまに心より感謝申し上げます。

明治6年に開校した本校は、今年度からコミュニティ・スクールとして新しい一歩を踏み出しました。今まで以上に「地域とともにある学校」として、地域に根差した教育づくりを進めてまいります。その一つとして「西東京ふるさと探究学習」を新たなカリキュラムとして創造し、その充実を図ってまいります。

これからも「みんなのすてきが見つかる学校」を目指し、子どもたちの、学校の、地域の「すてき」がたくさん見つかる教育活動を創造してまいりますので、変わらぬご理解とご支援をよろしくお願い申し上げます。



式典の様子



碧山小学校 校長 稲富 泰輝

本校は、昭和38年4月1日、保谷小学校、保谷第一小学校、東伏見小学校の一部をもって、新たに碧山小学校区域が設定され、碧山小学校が開校しました。初代校長矢口 崇博先生が基本方針に、「児童愛をすべての根底に」を示されています。この大きな理念は、学校だけではなく、家庭・地域の協力を得て脈々と受け継がれ、本校の大きな支えとなっています。

現在、碧山小学校の児童数は、540名程度で、児童数の減少もなく教育活動を進めることができている。校舎はオープンスクールの形をとっており、児童同士が活発に意見をやりとりすることができることも、思い切った活動もできる、素晴らしい環境となっております。

本校では、さまざまな機会を通じて児童に、「自分でできることは、自分で最後まで行う。(自律)」ということを伝えています。明日の日本を強くたくましく生き抜くために、今後も自律について、教育活動全体を通して取り組んでまいります。



式典の様子

東京都教育委員会からの表彰

◇学校活動支援団体等に対する感謝状贈呈

長年にわたり、学校活動の支援及び地域における児童・生徒の育成活動を続けている個人・団体に対し、今後の活動継続を奨励するため、東京都から感謝状が贈呈されました。西東京市からは、次の団体が表彰されました。

- ◆東伏見小学校 通学区域 ふれあいのまちづくり 住民懇談会 『くじら山』 (東伏見小学校)



感謝状贈呈の様子

◇東京都教育委員会職員表彰

東京都の教育の発展、学術、文化の振興に貢献し、その功績が顕著で、かつ勤務成績の優秀な職員の功労をたたえるため、東京都から表彰状が授与されました。西東京市からは、次の方が表彰されました。

- ◆山本 一幸 (田無第四中学校長)
- ◆古家 新一 (青嵐中学校長)

◆教育企画課 042-420-2822

※敬称略

◇東京都教育委員会表彰 (健康づくり功労)

児童・生徒の健康づくり(学校保健・学校安全分野)において、その指導、活動を通じて優れた功績があったとして、東京都から表彰状が授与されました。

西東京市からは、次の方が表彰されました。

- ◆高山 順 (谷戸小学校学校医)

◆学務課 042-420-2825

おめでとうございます

西東京の教育第103号(令和5年11月15日発行)に掲載しました「第1回 西東京市図書館を使った調べる学習コンクール」で、教育長賞に選ばれた芝久保小学校 黒崎 空良さんの作品が「第27回 図書館を使った調べる学習コンクール」全国コンクールにおいて「奨励賞」を受賞されました。

◆図書館 042-465-0823

いつでも安全 いつでも安心 西東京

いつでも安全
いつでも安心
西東京

01 カルタ講座 ～ あそんでまちをおぼえよう～

西東京市カルタ製作委員会が、市民から市内おすすめスポットを募集して製作した西東京市カルタ。子どもたちが自分の住むまちに愛着と誇りを持つきっかけとなるように、カルタ遊びよりも絵札の内容にフォーカスして実施しました。カルタを活用して、西東京市の歴史や特色を再発見することができました。

この講座をきっかけに、学校や自分の住む地域を探索して、オリジナルのカルタを作ってみてはいかがでしょうか。

- ▶講師 西東京市カルタ製作委員会 富沢 木美氏 徳丸 由利子氏
- ▶実施校数 小学校3校



02 平和講座 ～ 体験を語り継ぐ、私たちのまちにあった戦争～

太平洋戦時下、私たちが住む西東京市でも、アメリカ軍のB29爆撃機からの爆撃により田無駅を中心に多くの市民や子どもたちが空襲の犠牲になりました。

戦争の記憶を風化させないために、ご家族が空襲体験をした講師から、教科書には載っていない話を聞いて、次世代の語り部となる子どもたちに命の尊さや平和とは何か、戦争の悲しさや愚かさを語り繋ぐ機会となりました。

「いってきます」「いってらっしゃい」「ただいま」「おかえりなさい」と、当たり前と言える毎日を次世代の子どもたちに繋げていくために…

- ▶講師 総持寺住職 小峰 立丸氏 市内在住 萩原 直規氏
- ▶実施校数 小学校3校 中学校2校



03 災害(風水害)で 何が起ころか想像してみよう ～ 東京マイ・タイムラインを使って～

近年の気温の上昇や大雨の増加など、自然災害が起きた時のために日頃から備えることを目的として、ハザードマップの見方を学習し、台風が近づいているときの「マイ・タイムライン」を作成しました。講師のほかにも地域の大人が各班のサポートに加わり、子どもたちと対話しながら共に学び合いました。

自宅から避難所までの経路や日頃の備えの大切さなど、学習した内容を家族と共有する機会になりました。

- ▶講師 西東京レスキューバード 庄 雄一朗氏 立元 博史氏 他
- ▶実施校数 小学校4校、中学校1校



◆公民館 042-464-8211

図書館司書が先生になりました

01 新聞をつかって しらべてみよう

多種多様な情報が載っている新聞の見方や特徴を紹介しました。また、新聞データベース「朝日新聞クロスサーチ」を使って、自分が生まれた日の新聞を検索し、新聞の見出しを見ながら、興味のある記事について、ワークシートを作成してもらいました。

- ▶実施校数 小学校3校



02 西東京市に伝わる おはなしを大型紙芝居と 『西東京市図書館/西東京市 デジタルアーカイブ』で 鑑賞してみよう

西東京市のクイズや小断を披露。大きな郷土紙芝居の実演と、図書館ホームページ「西東京市デジタルアーカイブ」での閲覧も行い、地域について楽しく学ぶ機会となりました。

- ▶実施校数 小学校3校



03 『図書館』×『仕事』 ～本で結ぶ「WORK」とわたし～

職業・仕事に関連する小説や絵本・調べものの本を紹介し、本を通して将来の自分を考えるヒントを伝えました。「和菓子屋」「林業」「アニメ業界」「校閲者」など、主人公が仕事を通じて成長する物語や、知っておきたいワークルールや労働問題について、中学生でもわかりやすくまとめられた本などを紹介しました。

- ▶実施校数 中学校1校



04 ハンディキャップ サービスって、なあに?

さまざまな環境や理由によって通常の図書館利用が難しい人に向けて行っている、ハンディキャップサービスの内容を、実物の機器や資料を使いながら紹介しました。

- ▶実施校数 小学校3校 中学校1校



◆図書館 042-465-0823

01 縄文時代と下野谷遺跡 ①やってみよう!考えよう!縄文時代と下野谷遺跡 ②縄文のムラ 下野谷遺跡を知ろう! ③「したのやいせき」のどんぐりアート

土器の模様を写し取ったり(①)、VR体験で縄文のムラを訪れたり(②)、縄文人の大切な食べ物だったどんぐりを使って縄文時代を感じる小さな作品を作ったり(③)。楽しみながら下野谷遺跡に暮らした人々の生活や技術について考えました。全ての講座で本物の土器に触れる時間をもちました。

- ▶実施校数 小学校11校



02 平和 縄文時代に戦争はあったか ～下野谷遺跡から平和を考える～

下野谷遺跡をはじめ、縄文時代の遺跡からは戦いに特化した道具や集団殺りくを示すお墓などは見つかっていません。縄文時代には戦争はなかったというのが定説です。下野谷遺跡や西東京市に残る戦争の痕跡から平和について考えました。

- ▶実施回数 スキップ教室2回



03 郷土 民具に触れて 昔の暮らしを考える

昔の道具を実際に使ってみたり、今の道具と比べたりしながら、当時の暮らしや人々の知恵を学びました。昔話の絵本やテレビで見た道具を発見して、子どもたちは目を輝かせていました。

- ▶実施校数 小学校4校



◆社会教育課 042-420-2832

教育委員会では、全市立学校の登下校区域に計99台の防犯カメラを設置しています。

まちなか先生がやってきました!

市立小・中学校を対象に、地域で活動している団体や、専門職員(学芸員、司書)を講師として派遣し授業を行う取組です。

学芸員が先生になりました。

下野谷遺跡の公式キャラクター したのやムラの「した」「のーや」 ©T&K/西東京市



3月10日は東伏見にある下野谷遺跡が国史跡に指定された記念日「したのやの日」です。

下野谷遺跡は、今から4～5千年前の縄文時代にムラのあった場所です。縄文時代の人たちは、ムラのまわりの森や川で採れるものを工夫して食べていました。

西東京市の学校では、各校の学習状況や「したのやの日」に合わせて「縄文風給食」を提供しています。最近の研究でわかってきた縄文人の好物である、クリ、魚、肉、山菜、キノコ、アズキなどを使った献立になっています。

縄文風給食を家庭用にアレンジしたレシピを参考に、縄文人の暮らしを想像しながら、ご家庭でも作ってみませんか。

● 縄文鍋 ●

〈材料〉(2人分)

- | | | |
|-------------|---------------|-------------------|
| 豚ひき肉…… 100g | しょうが… チューブ2cm | 大根…………… 5cm |
| でんぷん… 大さじ1 | ねぎ…………… 20g | 人参…………… 1/3本 |
| ねぎ…………… 20g | 塩…………… 少々 | 玉ねぎ………… 1/2個 |
| しょうゆ… 少々 | しょうゆ… 少々 | 山菜水煮…… 40g |
| 酒…………… 少々 | 酒…………… 少々 | ごぼう………… 5cm |
| | | 干し椎茸…… 2個 |
| | | じゃがいも… 1/4個 |
| | | 〔A〕 塩…………… 小さじ1/2 |
| | | 〔B〕 こしょう… 少々 |
| | | しょうゆ… 大さじ1 |
| | | 水…………… 500cc |
| | | 鰹厚削り…… 10g |



献立

- 赤米入り栗ごはん
- 魚のしそみそ焼き
- 縄文鍋

〈つくり方〉

- ① 肉団子を作る。
ねぎ→みじん切り
ひき肉に〔A〕を加え、よく練ってから丸める。
- ② 野菜は洗い、それぞれ切る。
大根→いちよう切り(厚め)
人参→いちよう切り
玉ねぎ→くし切り
じゃが芋→いちよう切り(厚め)
ごぼう→ささがき
干し椎茸→戻しておく。戻し汁も使う。
山菜→3～4cmにカット
- ③ 鍋にだしをとり、肉団子を入れる。
②で切った野菜を入れ、中火で軟らかくなるまで煮る。
- ④ 〔B〕を入れて味を調える。

*野菜の量は、目安量です。作りやすい量で調整してください。



給食費の納め忘れはありませんか

市立小・中学校では学校給食法に基づく完全給食を実施しています。学校給食法の規定により、給食の実施に要する経費のうち、食材費を保護者の方々にご負担いただいています。納め忘れなどで給食費の滞納がつま重なると、食材の仕入れや支払いなどに影響が生じかねません。

年度末に向けて、納め忘れがないか、いま一度ご確認をお願いいたします。なお、ご事情により支払いが滞っている場合は、まずは学校にご相談ください。ご理解とご協力をお願いいたします。

◆学務課 042-420-2825

学校選択制度 申立時期等の変更のお知らせ

令和7年度入学対象

令和7年度入学の学校選択制度申立てから手続を変更する予定です。詳しくは、本年7月頃に市ホームページやパンフレットを通じてご案内します。



学校選択制度の申立時期の変更 (10月から9月に)

10月に実施していた学校選択制度の申立ての受付を9月に変更します。申立時期を早めることにより、ご家庭で入学予定校を早めに確認できるほか、翌年度の各小・中学校のクラス編制や施設整備を円滑に行い安定した学校運営ができるようにします。



手続の利便性の向上について

現在の窓口で実施している手続について、利便性の向上を検討しています。詳細が決まり次第、広報紙やホームページ、パンフレットを通じてお知らせします。



学校選択制度向けの各校の情報提供

教育委員会と各小・中学校のホームページに学校選択制度向けの情報を掲載し、学校選択制度の利用を検討される方々が必要なときに各校の情報を確認できるようにします。

※今回の変更は、昨年度、学校選択制度に関する検討懇談会から提出された報告書や、昨今の社会情勢を踏まえて行うものです。

◆学務課 042-420-2824

副籍制度に基づく交流及び共同学習の取組紹介

市立小・中学校では副籍制度に基づく交流及び共同学習が行われています。

副籍制度とは

都立特別支援学校の小・中学部に在籍する児童・生徒が、居住する地域の区市町村立小・中学校(地域指定校)に副次的な籍(副籍)を持ち、直接的な交流や間接的な交流を通じて、居住する地域とのつながりの維持・継続を図る制度のことで。

〈事例紹介〉

小学3年生児童 地域指定校:保谷小学校

少人数算数授業に参加しました。手話通訳者を介して先生の発言や周りの児童が発表の様子を読み取りながら積極的に授業に取り組むことができました。また、休み時間には周りの児童から自然と声をかけられ一緒に過ごすなど、授業以外でも楽しく交流することができました。



【直接的な交流】

対象児童・生徒が、地域指定校で行う授業や行事に参加する交流活動です。教科(算数や音楽など)や道徳、特別活動(学級活動や小学校のクラブ活動など)、総合的な学習の時間に、交流及び共同学習を行います。

【間接的な交流】

学校・学年通信や手紙の交換を中心とした交流のほか、文化発表会作品展示でも交流を図っています。

中学3年生生徒 地域指定校:青嵐中学校

1学級・J学級の音楽の授業に参加しました。前半は1学級・J学級の生徒から合唱発表会で歌った合唱曲を披露してもらいました。後半はボディパーカッションとして加わり全員でセッションし、教室全体が一体感に包まれた中で楽しい時間を過ごすことができました。



◆教育指導課 042-420-2828